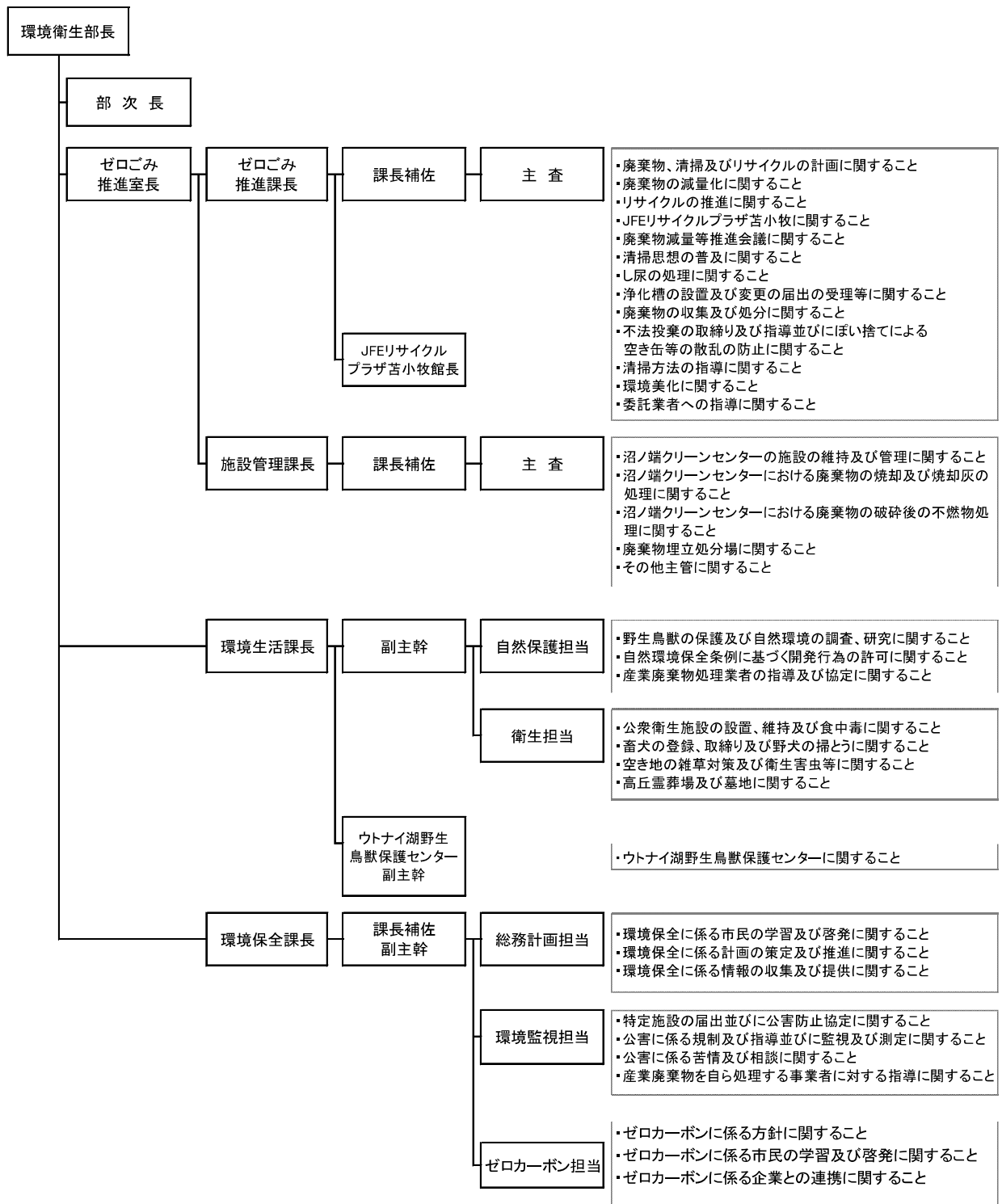


## 第2章 環境行政の概要

### 第1節 行政組織及び予算

#### 1 行政組織及び事務分掌

(令和5(2023)年3月31日現在)



## 2 予 算

### ■公害対策費の事業別予算内訳

(単位：千円)

事業区分	令和4(2022) 年度予算額	令和5(2023) 年度予算額	比較増減
環境審議会委員経費	128	132	4
環境保全業務等経費	2,610	3,023	413
公害対策経費	26,653	26,537	▲116
環境基本計画推進事業費	413	0	▲413
公害測定機器整備事業費	0	10,212	10,212
ゼロカーボンハウス促進補助金	7,000	111,870	104,870
ゼロカーボン推進啓発事業	0	7,330	7,330
環境保全啓発事業費	800	0	▲800
公共施設再生可能エネルギー導入事業費	0	20,000	20,000
環境基本計画(ゼロカーボン)推進計画)策定事業費	15,770	0	▲15,770
臭気削減効果調査委託事業費	0	2,000	2,000
ゼロカーボン×ゼロごみ大作戦!	0	4,242	4,242
計	53,374	185,346	131,972

※予算額は当初予算額

(担当課：環境保全課)

### ■自然環境保護費及び衛生諸費の事業別予算内訳

(単位：千円)

事業区分	令和4(2022) 年度予算額	令和5(2023) 年度予算額	比較増減
(自然環境保護費)			
自然環境保全審議会委員経費	336	454	118
自然環境保護経費	5,091	5,950	859
野生鳥獣保護センター管理運営経費	13,640	13,481	▲159
アライグマ・エゾシカ等生活環境被害対策事業費	10,840	13,507	2,667
生物多様性推進事業費	0	12,199	12,199
小計	29,907	45,591	15,684
(衛生諸費)			
環境衛生経費	212	199	▲13
動物火葬場維持管理経費	1,507	1,515	8
畜犬登録事務等経費	3,473	3,363	▲110
公衆浴場下水道料金軽減経費	21,500	20,000	▲1,500
霊葬場指定管理費	57,282	61,421	4,139
苫小牧地方食品衛生協会補助金	120	120	0
公衆浴場振興補助金	378	378	0
霊園維持管理運営経費	27,452	29,179	1,727
公衆浴場設備整備助成金	1,112	1,500	388
公衆浴場確保対策事業費	750	750	0
霊葬場整備事業費	18,098	13,672	▲4,426

霊園管理基金積立金	1,000	1,400	400
霊園改修等事業費	-	23,925	23,925
霊葬場大型炉整備事業費	-	13,310	13,310
畜犬管理システム導入事業費	4,377	-	▲4,377
墓所返還支援事業費	150	-	▲150
小計	137,411	170,732	33,321
計	167,318	216,323	49,005

※予算額は当初予算額

(環境生活課)

■清掃関連の事業別予算内訳

(単位：千円)

事業区分	令和4(2022) 年度予算額	令和5(2023) 年度予算額	比較増減
<b>(清掃総務費)</b>			
廃棄物減量等推進審議会委員経費	324	501	177
清掃庁舎管理運営経費	8,225	8,819	594
リサイクルプラザ事業推進経費	7,547	7,403	▲144
災害廃棄物処理計画策定事業費	3,314	0	▲3,314
ゼロカーボン×ゼロごみ大作戦！事業費	0	2,830	2,830
小計	19,410	19,553	143
<b>(塵芥処理費)</b>			
塵芥処理事業経費	740,185	777,751	37,566
清掃車両運行経費	11,814	13,128	1,314
資源物中間処理事業費	216,049	215,729	▲320
資源リサイクル運動推進事業費	197,370	256,369	58,999
清掃統計処理システム事業費	5,531	863	▲4,668
小計	1,170,949	1,263,840	92,891
<b>(清掃施設費)</b>			
沼ノ端クリーンセンター管理運営経費	480,162	502,871	22,709
埋立処分場管理運営経費	32,188	29,363	▲2,825
清掃施設ダイオキシン類測定分析業務費	2,897	3,052	155
廃棄物処理施設整備基金積立金	100,073	100,088	15
沼ノ端クリーンセンター整備事業費	198,220	213,665	35,499
小計	813,540	849,039	12,572
<b>(し尿処理費)</b>			
し尿処理経費	138,046	138,708	662
西町し尿処理施設改修事業費	4,093	3,759	▲334
合併処理浄化槽設置整備事業費	1,500	1,500	0
小計	143,639	143,967	328
計	2,147,538	2,276,399	▲128,861

※予算額は当初予算額

(担当課：ゼロごみ推進課、施設管理課)

## 第2節 環境に関する主な取組

### 1 苫小牧市役所エコオフィスプラン

本市では、平成 14（2002）年に「苫小牧市役所地球温暖化防止実行計画」を策定し、市の事務・事業から排出される温室効果ガスの削減に取り組んできました。

また、「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」（以下、「省エネ法」という。）の改正により特定事業者の指定を受け、平成 22（2010）年 11 月に「省エネ法」に基づく取組方針を策定し、エネルギー使用量の削減にも取り組んできました。

温室効果ガス削減の取組は、エネルギー使用量削減の取組と一致する部分が多いため、平成 23（2011）年 4 月に策定した「苫小牧市役所エコオフィスプラン」において、環境マネジメントシステムの P D C A サイクルの手法を取り入れ、市の事務・事業における温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量の削減を目指して取組を進めています。

（第 1 期エコオフィスプラン計画期間：平成 22（2010）年度～平成 26（2014）年度

（第 2 期エコオフィスプラン計画期間：平成 27（2015）年度～令和 元（2019）年度

（第 3 期エコオフィスプラン計画期間：令和 2（2020）年度～令和 7（2025）年度

#### （1）温室効果ガス排出量削減の取組

令和 4（2022）年度の市役所における温室効果ガス排出量は、56,280 t-CO<sub>2</sub> となり、基準（平成 25（2013））年度と比べると 8.3%減少しました。内訳として、エネルギー起源 CO<sub>2</sub> は市役所全体の合計で 0.5%の増加、廃棄物燃焼による非エネルギー起源 CO<sub>2</sub> では、30.2%の減少となりました。

※非エネルギー起源 CO<sub>2</sub> について算定方法を見直したため、基準年度まで遡り数値を修正しています

#### ■ 苫小牧市役所の CO<sub>2</sub> 排出状況

（単位：t-CO<sub>2</sub>）

排出区分	平成 25(2013)年度 (基準年度)	令和 4(2022)年度	増減
エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	42,337	40,390	0.5%
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub> (廃棄物燃焼)	17,016	15,890	-30.2%
合計	59,353	56,280	-8.3%

## (2) 省エネルギーの取組

令和4(2022)年度の市役所におけるエネルギー消費量は、17,002kL(原油換算)となり、基準(平成25(2013))年度と比べると1.2%増加しました。主な増加理由は、対象施設数の増加及びコロナ対策の緩和による公共施設の稼働時間が対策以前の水準に戻ったこと、冬季間の換気が引き続き行われていることが挙げられます。

内訳は、燃料燃焼・熱供給が3.6%増加し、電気使用が0.1%、自動車使用が9.4%、それぞれ減少しています

## 2 グリーン購入の取組

物品等を購入する場合に、品質や価格だけではなく環境への影響を考え、環境負荷ができるだけ小さい物品等を優先的に購入することをグリーン購入といいます。

平成13(2001)年4月に施行された、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に基づき、本市においても平成15(2003)年1月にグリーン購入推進方針を策定し、取組を開始しました。

なお、取組品目数は過去数年間で購入実績がない物品や極端に少ない物品の除外、また、類似品目の統合などにより変動します。

### ■グリーン購入取組実績

区分	年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
取組品目数		24	24	24	24	24
取 組 分 野	紙類	88.1%	91.1%	91.1%	75.9%	85.0%
	文具類	99.8%	99.8%	99.7%	99.7%	99.1%
	電池	99.8%	99.8%	100%	100%	100%
グリーン購入率(%)		88.5%	91.5%	91.3%	88.6%	89.1%

※R3(2021)年度から集計基準を変更

## 3 公共工事環境配慮

グリーン購入の中で特に環境に与える影響が大きい公共工事の分野に関しては、グリーン購入推進方針とは別に、平成15(2003)年3月に公共工事環境配慮指針を策定し、取組を行っています。

■公共工事環境配慮取組実績

年度 区分	H30 (2018)	R 1 (2019)	R 2 (2020)	R 3 (2021)	R 4 (2022)
取組項目数	29	29	29	29	29
取組実績数	17	18	19	18	17
対象工事数	209	178	165	148	147
環境配慮率(%)	90.4%	93.7%	91.8%	87.0%	90.2%

## 4 補助事業

### (1)ゼロカーボンハウス促進補助金

平成 21 (2009) 年度から、地球温暖化対策の一環として太陽光発電システムを自ら居住する住宅に設置する方に設置費の一部を補助する事業を展開しています。

平成 28 (2016) 年度からは、3 機種の省エネ給湯暖房器システムを加え、令和元年度には HEMS (ホームエネルギーマネジメントシステム) 及び定置用リチウムイオン蓄電池設置補助を加え、令和 2 (2020) 年度からはコレモ (家庭用ガスエンジンコージェネレーションシステム) 及び V 2 H (ビークルツーホーム) を追加しました。

令和 4 年度からは、エコジョーズ、エコフィール、コレモが補助対象外となり、新たに車の電気を自宅に給電する給電装置を補助対象に加えました。

■補助率及び上限金額 (令和 4 (2022) 年度)

○太陽光発電システム (購入・設置費の 1/10 : 上限 15 万円) ○エコキュート (購入・設置費の 1/10 : 上限 4.5 万円) ○ H E M S (購入・設置費の 1/10 : 上限 2 万円) ○定置用リチウムイオン蓄電池 (購入・設置費の 1/10 : 上限 12 万円) ○ V 2 H (購入・設置費の 1/10 : 上限 5 万円) ○給電装置 (購入・設置費の 1/10 : 上限 3 万円)

■補助実績

(単位:件)

年度	太陽光発電	エコ キュート	エコ ジョーズ	エコ フィール	HEMS	蓄電池	コレモ	V2H	給電 装置	計
H21 (2009)	5	-	-	-	-	-	-	-	-	5
H22 (2010)	10	-	-	-	-	-	-	-	-	10
H23 (2011)	20	-	-	-	-	-	-	-	-	20
H24 (2012)	101	-	-	-	-	-	-	-	-	101
H25 (2013)	148	-	-	-	-	-	-	-	-	148
H26 (2014)	110	-	-	-	-	-	-	-	-	110
H27 (2015)	51	-	-	-	-	-	-	-	-	51
H28 (2016)	31	64	179	51	-	-	-	-	-	325
H29 (2017)	34	69	163	83	-	-	-	-	-	349
H30 (2018)	35	74	182	70	-	-	-	-	-	361
R1 (2019)	19	29	50	50	6	5	-	-	-	159
R2 (2020)	14	37	43	64	7	8	2	0	-	175
R3 (2021)	16	31	22	32	5	21	6	0	-	133
R4 (2022)	40	98	-	-	7	26	-	0	9	180
計	634	402	639	350	25	60	8	0	9	2,127

## (2)苫小牧市省エネ家電製品普及促進補助金事業

内閣府の「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用し、家庭におけるエネルギー費用負担を軽減するため、省エネ性能の高い家電製品への買い替え促進により生活者の支援を目的とした臨時事業です。

補助の対象となる家電製品は、家庭におけるエネルギー費用負担の軽減及び二酸化炭素の削減に寄与し、日常的に稼働率の高い冷蔵庫及びLED照明としました。

対象家電製品	購入価格(税抜き)	補助額	交付件数
冷蔵庫+LED 照明	150,000 円以上	60,000 円	368 件
	100,000 円以上	40,000 円	49 件
	50,000 円以上	20,000 円	12 件
	30,000 円以上	12,000 円	3 件
LED 照明 (冷蔵庫同時購入の場合)	10,000 円以上	10,000 円	127 件
LED 照明のみ	20,000 円以上	10,000 円	78 件
合計			637 件

## 5 環境学習・啓発事業

現在の環境問題は多種多様であり、地球温暖化など私たちの生活と密接に結びついた問題の解決には、市民一人ひとりの取組が大切です。

本市では各種の環境学習・啓発事業を実施し、市民の環境意識の向上に努めています。

### (1) 出前講座・副読本

市民や学校などの要請に応じて市職員が市民団体や学校、事業所に出向き、地球温暖化やゼロカーボン等、環境保全に関する講座を行っています。

令和4(2022)年度は、15件479人の市民が受講しました。

また、地球温暖化や廃棄物など様々な環境問題への意識啓発として、小学4年生及び中学1年生を対象とした環境教育副読本「ゼロカーボンとゼロごみのまち とまこまい」を市内全小中学校へ配布しており、授業や様々な活動の場面で有効活用されています。

### (2) 環境月間啓発事業

昭和47(1972)年6月5日から16日まで開催された国連人間環境会議において、人類とその子孫のための人間環境の保全と改善を世界共通の努力目標として、実現の意思を表明するため「人間環境宣言」が採択されました。これを記念して、開催日である6月5日を「世界環境デー」と定め、世界各国で様々な行事が行われています。我が国では6月を「環境月間」と



定め、将来により良い環境を継承するため、国、地方公共団体、民間団体などによって各種の事業が実施されています。

本市では「環境月間」に合わせて、パネル展示や庁内放送等を行うとともに、1か月間、5つの項目に取り組む「エコドライブのすすめ」を市職員全員で実践し、令和4(2022)年度は、通常運転と比較して、全体で12,684Lの燃料削減と29,173kgのCO<sub>2</sub>削減となりました。

また、環境省によるライトアップキャンペーン「#環境の日はグリーン」に参画し、6月5日に苫小牧信用金庫本店、高齢者複合施設Ⅲ(ふれんどビル)、緑ヶ丘公園展望台が緑色にライトアップされました。

### (3) 環境基本計画推進事業

市民に環境保全と創造などの大切さを学び関心を持ってもらうことを目的として、環境基本計画推進会議(市民・事業者・市の三者による協働組織)により毎年度実施しています。

令和4(2022)年度は環境基本計画推進会議の、ゼロカーボンに向けた取組を行っている事業所を見学する「身近なゼロカーボン見学会」、市内小学生を対象に環境保全への意識を高めてもらうことを目的とした「ゼロカーボンポスターコンテスト」、薪割りや間伐材集め等を通して森林環境保護を学ぶ「秘密基地を作ろう!」、省エネ調理法を学び実践する「親子でエコ・クッキング教室」を実施したほか、新型コロナウイルス感染拡大の状況下でも事業所のエコな取組を学べる動画「突撃!とまエコ企業」をYouTubeで公開しました。

なお、水生生物の採取や水質状況の調査から環境保護を学ぶ「せせらぎスクール」が河川増水のため、地引網体験や簡易水質測定を通じ自然環境を学ぶ「ウトナイ湖漁業体験」が新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、関係各所と協議の結果中止となりました。

### (4) 環境保全啓発事業

令和2(2020)年度より民間企業への委託事業として、「エコドライブコンテスト」、「省エネコンテスト」、「Instagramでの環境保全活動の配信」等を行っています。

令和4年度(2022)年度は、上記に加え、古本の表紙を再利用し下敷きを作る「エコアイテムづくり」、風呂敷マスター協会の村田なちこ先生を講師に招き、わかりやすい実演・解説によりエコな風呂敷活用術を学ぶ「風呂敷講座」をInstagramで動画配信しました。

## (5) 消費生活展

令和4年10月22日に第49回「みんなの消費生活展」が開催され、エコドライブシミュレーターを活用し、25名の来場者にエコドライブの必要性を啓発発信することができました。また、そのうち、15名の方にエコドライブ宣言をしていただきました。

## (6) エコドライブ宣言

地球温暖化防止対策に有効な運転方法である「エコドライブ」を宣言し、下記の取組を実践する方を募集しています。令和4(2022)年度は111名が新たにエコドライブ宣言し、令和5(2023)年3月31日現在5,844名の市民及び市内の事業所へ通勤されている方が「エコドライブ宣言」され取組を実践しています。

### ■取組項目

- 1 ふんわりアクセル「eスタート」
- 2 加減速の少ない運転
- 3 早めのアクセルオフ
- 4 アイドリングストップ
- 5 エアコンの使用を控えめに
- 6 タイヤの空気圧をこまめにチェック
- 7 不要な荷物は積まずに走行
- 8 その他、独自に取り組まれている事項



エコドライブステッカー

### 【ふんわりアクセル「eスタート」とは】

燃費を向上させる「やさしい発進」のことで、平成17(2005)年末に、エコドライブ関連4省庁にて構成される「エコドライブ普及連絡会」で決定されました。

発信から最初の5秒間で時速20kmに達するくらいの加速が目安とされており、燃費消費は10%程度少なくなります。



とまチョップエコドライブステッカー